

独立行政法人農業者年金基金の平成21事業年度評価結果の主要な反映状況

1 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成21年度の総合評価が「A」評価であったこと等を踏まえ、役員解任等は行わなかった。
----------	--

2 法人の運営、予算への反映について

評価項目	21事業年度評価における主な指摘事項	平成22及び23年度の運営、予算への反映状況
業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	<p>給与水準については、国家公務員の給与改定を下回る給与改定を実施するとともに、国と同様に自宅に係る住居手当を廃止するなどの措置を実施した結果、対国家公務員地域別指数（地域別法人基準年齢階層ラスパイレス指数）は平成18年度の110.0より9.7ポイント改善され100.3となった。更に給与水準の公表において国と比べて給与が高い理由、給与水準の適切性の検証、講ずる措置等について、国民の理解が得られる説明が行われており適切に対処していると認められる。</p> <hr/> <p>「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて」（平成21年11月17日閣議決定）を受け、平成22年1月に契約監視委員会を設置し、外部委員により随意契約事由の妥当性等について審議を受ける等、適切に対処していると認められる。また、平成22年5月に「随意契約等見直し計画」を策定し、ホームページにおいて公表されており、引き続き契約の妥当性を確保するとともに「随意契約等見直し計画」が早期に達成されるよう取り組まれない。</p> <hr/> <p>コンプライアンス委員会を年4回開催し、コンプライアンス推進の取組状況についてホームページにおいて公表されている。</p>	<p>（平成22年度） 給与水準の適正化及び人件費抑制の観点から、国家公務員の給与構造改革を踏まえた措置を実施するとともに、国家公務員の給与改定に準じた給与改定等を実施した結果、地域別法人基準年齢階層ラスパイレス指数は、平成18年度の110.0より7.6ポイント改善され102.4となった。</p> <p>（平成23年度） 今後とも平成24年度までに地域別法人基準年齢階層ラスパイレス指数を100にする目標の達成に向けて引き続き給与水準の適正化に取り組む。</p> <hr/> <p>（平成22年度） 平成22年5月に新たな「随意契約等見直し計画」を策定し、当該計画を着実に実施し、真にやむを得ない場合を除き一般競争入札等にすべて移行しており、計画どおりの内容となっている。また、「随意契約等見直し計画」の取組状況については、ホームページにおいて公表している。</p> <p>（平成23年度） 引き続き適正な契約事務を継続していく。</p> <hr/> <p>（平成22年度） コンプライアンス委員会を年4回開催し、コンプライアンス推進の取組状況についてホームページにおいて公表している。</p> <p>（平成23年度） 今後とも年4回コンプライアンス委員会を開催し、コンプライアンス推進の取組状況についてホームページにおいて公表する。</p>